

平成24年度「オホーツクの流氷と自然を守る寄附金」の使途について

平成24年度 寄附金合計（平成25年1月25日現在）

9,720千円

寄附者 810件

皆様からいただいた寄附金は、一旦「オホーツクの流氷と自然を守る基金」に積み立て、皆様の指定した目的に合った形で下記の事業に使わせていただきましたのでお知らせいたします。

※「オホーツクの流氷と自然を守る寄附金」は、寄附をいただいた翌年度の事業に使わせていただきます。（平成24年度にいただいた寄附金は、平成25年度の事業に使わせていただきました。）

平成25年度 オホーツクの流氷と自然を守る基金充当事業の内訳

1. アザラシの保護活動などオホーツク海の海洋環境に関する事業（延453名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
とっかりセンター指定管理経費 「オホーツクとっかりセンター」では、アザラシの飼育、傷ついたアザラシや親からはぐれて保護された幼獣を治療し、野生復帰させる活動を行っており、この施設を運営管理する経費に充当させていただきました。	14,766千円	3,953,000円	アザラシ保護活動では、ゴマフアザラシ新生児を保護しました。とっかりセンターで元気を回復したアザラシは、野生復帰に向けたトレーニングを行い、オホーツク海へとリリースしました。

2. 地球環境の変化などに対応する環境保全啓発活動に関する事業（延203名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
北方圏国際シンポジウム開催事業 紋別市が昭和61年より毎年開催している「北方圏国際シンポジウム」は、『オホーツク海と流氷』をテーマに国内外の研究者による氷海・海洋研究の発信や情報交換の場として定着しています。この開催経費に充当させていただきました。	5,705千円	1,383,000円	H26.2.16～2.19開催。 研究者148名（内、海外研究者16名）の方に参加していただきました。 ・特別講演：南極での越冬経験がある朝日新聞社中山由美氏、豊富な潜水経験があるNHK潜水カメラマン川瀬直也氏による講演 ・学術シンポジウム：分科会、基調講演、特別セッション、ワークショップなど 今回から優れた発表を行った若手研究者に賞を与える青田昌秋賞を創設 ・市民講座：「氷海の民シンポジウム」「森から海の連環を考えるシンポジウム」「オホーツク～ふるさとの海」「オホーツク海新時代～新たな定期航路の航路図」 ・「子どもと親の流氷シンポジウム」北極と南極とオホーツクの今！ ・「教育シンポジウム～中学生の部～」中学生による総合学習報告

平成24年度「オホーツクの流氷と自然を守る寄附金」の用途について

3. 森林の適正な育成管理に関する事業（延210名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
オホーツク魚の市民植樹祭事業 美しい森は、めぐりめぐって人の住む「里」やとっかりの棲む「海」すべてを豊かにします。植樹祭は、市民参加による植樹を通じて「森里海の連関」を感じてもらい、森林が提供する公益的機能を認識していただくことを目的としています。この開催経費（植樹の苗木、地拵え等）に充当させていただきました。	600千円	600,000円	H25. 6. 2開催。 18回目の開催となった平成25年度は、208名の方に参加していただき、市有林大山団地に330本を植樹しました。植樹面積は0. 25haとなります。
緑の循環森林認証推進事業 紋別市は、適正な管理が行われていることで認証される「森林認証制度」の普及を進めています。認証された市有林のPRや、民有林の森林認証取得活動事業に充当させていただきました。	4, 107千円	807, 000円	<ul style="list-style-type: none"> ・紋別市全森林面積65, 688haのうち認証森林面積は56, 377ha、認証率は86%となりました。 ・一般森林所有者の森林認証取得を推進しました。 ・認証材活用住宅を建築し、広く認証材をPRしました。

4. 湖沼、河川の適正な管理に関する事業（延135名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
公害対策事務経費 紋別市は、オホーツク海に注ぐ渚滑川や、海に隣接するコムケ湖といった水資源が豊富です。大切な水資源を守るための水質検査分析経費に充当させていただきました。	2, 667千円	1, 057, 589円	市内6河川（7地点）で年に2～4回、2湖沼（3地点）で年3回の水質検査分析を行いました。いずれも水質に問題はありませんでした。

5. その他、市長が必要と認める事業（延172名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
休日夜間急病センター運営管理事業 紋別市が抱える喫緊の課題は、逼迫する地域医療体制の確保です。休日夜間急病センターの運営経費に充当させていただきました。	165, 167千円	2, 363, 000円	医師、看護師の確保、医療機材の充実を図り、通年（365日）診療することができました。

お一人で複数の使いみち指定がありますので、寄附者数と各事業への寄附者は一致しません。

なお、前年度からの繰越や、予算化の時期の関係から、平成24年度の寄附金総額とは一致しません。